

12月21日(日)

昔と変わらぬ味

酢 味だこ

1樽(1kg)

4,980(税込)円

予告 12月24日(水)・25日(木)

サン
三太巻き

大人気ネギトロ巻き
エビフライ巻き
宮崎牛肉巻き

1パック 1,580円

あー寒い。冬が嫌いな越道です。まだ、冬用タイヤにも変えてません。今週は暖冬?とユースで言っているの、で勝手に安心します。天気予報で少しでも雪マークになると、早々びつてすぐに変えるタイプです(笑)。早いですね、1年。あつとゆーまに、年末です。本日の広告、県北の年末の食卓には欠かせない、酢だこ、味だこ。小さい時から、ばあちゃん家には必ずあった商品です。さつぱりと食べたい方は、酢だこ。そのままでももちろん、きゅうりと一緒に混ぜて酢の物にしてもよし。オニオンスライスと一緒に、イタリアドレッシングでおしゃれに洋風で。味だこは醤油ベース。さつぱりが苦手な方はこちらがおすすです。今年最後のお買得商品となっております。そしてクリスマス。24・25日で三太巻(サンタ)を販売します。当店大人気ネギトロ巻き、エビフライ巻き、さらに宮崎牛肉巻きです。 HALF サイズの3種セット。ご来店お待ちしております。

西田鮮魚店 副店長 越道 裕子

☎0824-72-5246



西田鮮魚店

12月26日～1月5日までの間は
御用聞きは中止させていただきます。

『素敵な70代』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I 「えっ、なんで？」

広島みどり信用金庫で送金しようとした。カードを挿入。送金先の信金の高野支店を指定、相手の口座番号、私の電話番号など打ち込んで『送金』を押して完了、と思いきや、反応がない。画面が消え、まあ、大丈夫だろうと思いつつ『ご利用明細票』なるものを見ると、金額欄は空白。「おかしいのう」とつぶやきながら通帳に記帳して確かめようと、通帳を開いて挿入。「ん？記入できん」ということは、送金できていない？もう一度やってみた。同じだ。首をかしげながら窓口に行った。

窓口の女性が通帳を調べ「磁気がおかしくなってます」。すぐに修復してくれた。長いこと記帳していなかったから、そんなこともあるんだと思いながら、もう一度ATMへ。ところが、やっぱり振り込めない。ふたたび窓口へ。

「やっぱり、できんよ」

「ご利用明細票を見せていただけますか？」

ポケットから取り出し見せると、気の毒そうに彼女が言う。「この通帳は70才以上のお客様は送金できないようになっています」

「ん？」ピンときた。「振り込め詐欺？」「はい」

よく新聞で、振り込み詐欺を防いだ金融機関の人やコンビニのスタッフを表彰している記事を見る。

「よう、不審だとわかるもんじゃのう」と思いながら、なにげなく読んでいたが、「こういうことなんかあ」と納得した。まあ、そればかりでもないだろうが、この送金の年齢制限の効力は大きいだろうと思う。

とはいえ少しばかり寂しくなった。「わしも、そういう年になったんじゃ」。70才を越えるというのはいくつのことだ。

「おいくら送金されるんですか？」「44,000円」。金額を聞いて安心してみたいだ。

「どうすりゃあ、ええん？」

「銀行印をお持ちですか？」「いやあ、もつとらんよ」

そんな大事なものを持ち歩くわけない。それでなくても、このところ物をよくなくして往生するのだから。

銀行印があれば、年齢制限解除の手続きができるらしい。でも、家に取りに帰る時間はない。

「どうすりゃあ、ええん？」もう一度聞く。

「現金なら大丈夫です」「仕方ないね、そうします」

またまたATMへ。彼女は申し訳なさそうに「すみません」。いやいや、このおかげで詐欺から身を守れた人もたくさんいるわけだから…。

現金44,000円を引き出して送金手続き。

しかし、現金振り込みは自分の名前を打ち込んだりと余計な手数料がかかる。「めんどくさいのう」とぼやきながら、『送金』を押そうとしたら、画面に送金手数料220円とある。「嘘じゃろう。手数料がいるんか」。嘘じゃなかった。財布から1,000円取り出して45,000円にして送金。やっと終わった。20分くらいかかっただろうか。

お客が少ない時間帯だったからいいが、ATMの前でブツブツつぶやきながら操作し、あぐく窓口を往復している73才の姿は、どううつるだろう。よくある光景だが、ちょっと…。あらためて振り込め詐欺をする輩にムツとした。

さて、この70才からの年齢制限を解除したものかどうか。私が送金することはめったにない。だから、今まで、こんな制限があるなんて知らなかったわけだし。それに、詐欺に引つかからないという保証もない。私に限って騙されたりしない、とは思いますが、そんな、自分だけは大丈夫だと思っている人ほど危ないとも聞く。こは、このままにしておこう。

詐欺の手口は、ますます巧妙になっているらしいし…。と、いうわけで年末らしい？経験をさせてもらった。

II 「よっしゃあ!!」

12月の声を聞くと一年を振り返りたくなるのは私だけ？辰年の年男だった去年は坐骨神経痛でたいへんな年だったが、今年は痛いところもなく元気に過ごせた。何事もなく無事平穩に日々を送ることができ、ほんとにありがたい一年だった。しかし、それに甘えて、何もしない一年でもあった。一日一日、漫然と過ごしていた。ひたすら漫然と。

ただ、秋ごろからだだろうか。こんな言葉が口をついて出るようになった。『素敵な70代になる』。

何がきっかけになったのか定かではないのだが、突然、そう思い始めた。聞いた人は、たいてい、キョトンとしていた。わたしもそれ以上は言わない。というか、具体的に、こうするんだという豊富があるわけではなかった。

なんで、そんなことを口走り始めたのか。心あたりがあるとするればズボンの腰回りがきつくなったこと。腹が出て何を着ようとみつともない。このままではいけない。

5年前の経験がよみがえった。あのころ、ちょうどコロナが始まった2020年、悦子から金ちゃんが『ライザップ』に通っていると聞いた。あの金ちゃんが…。すぐ連絡して紹介してもらって始めた。

半年くらいすると、100kgあった体重が77kgまで落ちた。ベンチプレスも60キロを挙げるようになり(今は80キロ)、腕が太くなり胸も厚くなった。とうぜんお腹も引っ込んだ。そして腹筋が割れた。

すると、服の着こなしがよくなった。自分で言うのもなんだが、なかなかいける。「よっしゃあ!!」だ。

もつとも、病気じゃないかと心配する人もいたし、しわが増え「年をとったのう」と言われもした。それでも、こっちの方がいい。

ところがその後、5年かけて、お決まりのリバウンド。

この8月、とうとう95キロまで戻った。あの時、新調したズボンがパンパンになった。かつこ悪う。この2、3年、それこそ漫然と暮らしていたつげがきた。食べたいだけ食べ、呑みただけ呑んで、トレーニングもさぼりがち。このままではいけない、と思っではいた。でも、ずるずると…。

それが9月、突然スイッチが入った。家では悦子と一緒に米も麵もパンもやめた(たまに食べる)。

もちろん量も減らした。ライザップに通う回数も増やした。すると、今は88kgまで体重が落ちた。こうなると弾みがつく。来年2月の目標の80kg達成はまちがいない。

ただ、ここきて忘年会がやっかいだ。呑んで食べて、コントロールどころじゃなくなる恐れ大だ。

しかし、私の目標は『素敵な70代』だ。スタイルがよければいいってものじゃない。『素敵な70代』にコミュニケーション力は欠かせない。酒にも強くなくてはいけない。

今の私に忘年会をこたわるといふ選択肢はない。忘年会をこなした上で目標を達成してこそ『素敵な70代』だ。

来年は、腹筋が割れ、酒に強く、ATMの前で立ちつくすことのない『素敵な70代』になってみせる。



目指せ
ゴルゴ13!!

2025年12月21日